

豊能町総合まちづくり計画策定に向けた 企業ヒアリング実施概要

日 時：令和 3（2021）年 2 月 18 日（木）
午前 10 時 30 分～午後 0 時 30 分
場 所：有限会社上手工作所 2 階
話し手：①有限会社上手工作所 徳田マネージャー
②乗馬クラブクレイン北大阪 宮井所長
聞き手：審議会委員 7 名、事務局 3 名

【当日の様子】

■有限会社上手工作所



徳田マネージャー



■乗馬クラブクレイン北大阪



宮井所長



■有限会社上手工作所 ヒアリング概要【R3. 2. 18/10:30~11:30】

豊能町を選んでいただいた理由は？

- 東大阪では工場と店舗の場所がバラバラだったのと、工業地帯の住宅化が進み騒音などで仕事がしにくくなってきていたため、集約できる広い場所を探していた。
- 正直、豊能町でないとダメという訳ではなかった。
- 広さと金額を考えると、関空のあたりか、茨木、豊能町のあたりになる。
- もともと北の方の出身だったので、南より北がいいとなって豊能町を選んだ。

豊能町へ来てみてどうでしたか？

- 東大阪からの通勤が心配だったが、実際は、朝だと 70 分、帰りだと 45 分ぐらい。府の平均通勤時間 53 分を考えると、ここは平均的だと思う。
- 車通勤はリラックスする時間にもなっている。コロナもありたまたま時代に合っていた。
- 売上の 8 割がオンライン販売だが、商品の配送に課題がある。
- 佐川急便では、出荷量が通常集配には多すぎるが、個別でお願いするには少なすぎる。ヤマト運輸では、取り扱っている商品が大きすぎると言われて、契約に手間取った。
- 今は、西濃スーパーエクスプレスと契約し状況はかなり改善したが、それでも東大阪時代より運賃は相当高くなっている。
- 一社だけでなく、周りにももう少し事業所があれば改善できると思う。
- 周辺に飲食店がないのにも困り、社員の健康管理を考えて社内に食堂を作った。
- 豊能町はとても自然豊か。飛ぶ鳥の姿や川の音などに癒される。四季を感じる事が多く、リフレッシュしながら仕事ができている。
- 役場や地元の人との距離感も東大阪では考えられないぐらい近い。困ったことにも親身になってくれて、物事が早く片付く。
- 社員の駐車場に困った時も、地元の方に助けていただいた。
- 大きな視野で見ると、空港や新大阪、大阪市内からもすごく近い。来てからだが、スゴク良いところだと気づいた。遠いイメージを持たれているが、地方の人でも来やすい場所。

新たに挑戦していることや、挑戦してみたいことはありますか？

- 川尻にある「山本林業」の杉を使った「トヨノノ」シリーズを販売している。豊能町を広めていきたい。11 月からはふるさと納税の返戻品にもなっている。
- 次の計画として、ローソンの向こう側に倉庫・店舗兼の飲食店を考えている。安いものを売るお店ではなく、こだわったものを使い「食べて健康になる」をコンセプトにするつもり。
- 知り合いが、地元の役場の改装を一緒にやって、地域一体でイメージづくりをしている。地元の誰かと、地元のモノを使って仕事ができると素敵だと思う。

■有限会社上手工作所 ヒアリング要約

話し手：徳田マネージャー

聞き手：審議会委員 7 名、事務局 3 名

(徳田) 東大阪で 20 年ぐらい前から鉄工と木工をやっている製造業で、自社でデザイン・製作・販売をしている。なぜ豊能町に来たかという、東大阪では、工場や店舗が近くだけバラバラの場所であって、広い土地を探していたところ、たまたま良い場所があった。正直、豊能町でないとダメだと言うことで探していたわけではない。それなりの広さとなると、ここでも 500～600 坪ぐらいあるが、市内で購入し建物を建てると数億という額になる。なので、少し町中から離れたところ。それと東大阪は工業地帯、モノづくりの町となっているが、工場が閉鎖した後には住宅が建ち始めていて騒音が問題になっている。できれば音を出さずに仕事をしてほしいとか、木埃が出るので窓を開けないでほしいとか、仕事がしにくい環境になってきている。移転の第一条件が、周りに家がないこと。周りに家がなく工場が建てられるところは、南でいうと関空のあたり、北だと茨木の山の上か豊能町ぐらい。社長も私ももともと北の方の出身だったので、南より北が良いと言うことで豊能町にきた。

当初問題になったのが通勤。東大阪では 10 数名でやっていたので、全員が豊能町へ通勤できるのか心配だったが、だんだん慣れてきた。もっと大変かと思っていたが、逆に言うと、車で通勤なのでリラックスする時間がある。コロナの問題で電車・バスに乗るのが難しいと思うけど、車通勤なのでたまたま時代にあっていた。コロナの時期も店舗は閉めたが会社はできた。

(委員) 通勤時間はどのくらいかかる？

(徳田) 朝だと 1 時間 10 分ぐらい。帰りだと 45 分。大事故とかがない限り、年間通して 20 分以上の誤差が出ることがない。思ったより遅刻することはない。大阪府の通勤平均時間は 53 分と出ていた。60 分以上が 20 数%。それを考えると平均的だと思う。片道 40km ぐらいあり高速に乗ってくるので通勤費はかかるが、数名で乗り合っているから、トータルで考えると、通勤費がそんなに増えたわけではない。

(徳田) 今はかなり解決したが、こちらに来て困ったことがいくつかある。

売上の 8 割がオンラインショップでの販売になっているため、運送会社が来てくれないと商品を外に運べない仕組みになっている。佐川急便の拠点は千里中央にあり、有料トンネルを通過できないといけない場所なので、会社を移転させる前に佐川急便へ月の発送数などを伝えて確認した。そのときは集荷できると言われていたけど、実際に移転してくると、そんなに荷物があるなら受けれないと言われた。商品を運んでもらえないと仕事にならないので、何度も確認してきたけど、「絶対に無理」の一点張り。ヤマト運輸は大きなサイズが運べない。結構大きなモノも扱っているから、商品が運べないとなってしまう、そこは手こずった。最終的には、大きな荷物だけ何とか佐川急便にお願いして、残りはヤマト運輸にお願いすることになった。ただ、東大阪の時は契約運賃で、量を出荷すればある程度安くなる仕組みがあったが、ここではそれがなくなってしまい、ちょっと大きなサイズだと 6000 円とかかかる。そうすると、2000 円ぐらいの鉄のポールを 6000 円ぐらいで送らないといけない。それはどうなの？と最初はかなり手こずった。今は西濃スーパーエクスプレスと契約が上手くいって、大きなものも運んでもらえるようになったので、かなり改善はしたけど、東大阪時代に比べると運賃は相当上がっている。

- (委員) 来店客への販売にも影響が出ているのか？
- (徳田) オンライン販売がメインなので、来店がなくても問題はない仕組みになっている。逆にコロナになってからは、市内に足を向けにくくなっているが、ここは自然豊かな場所だとの印象が強く、土日の客は多い。駐車場が満車になるときもある。たまたま時代があったのかもしれないが、人の少ない場所に行こうという認識があつて来店が減っているところはない。
- (委員) 来店されるのは一般ユーザー？
- (徳田) 来店されるのは一般の方と、工務店、デザイナーの方などもいる。
- (徳田) 次に困ったことは、周りに食べる場所がないこと。東大阪では歩いて行ける範囲にファミリーレストランや弁当屋など何軒もあった。社員には独身も多く、毎日コンビニ弁当では問題だとなつて、社内に食堂を作った。
- (委員) 調理する人を地元で雇用する考えは？
- (徳田) 当初お願いしたこともあつたが、実は難しい仕事だった。1日3時間程度なので稼げる仕事ではないけど、買い出しなどもあり大変。20人分の食事なので量もそれなりにあるが、業者をお願いするほどでもなく、微妙な量感。来ていただいた方も、思っていたより大変な仕事だったので辞められた。
- (徳田) 豊能町のいい点は、窓の外を見ると鳥が飛んでいたり、川の音が聞こえたりする。とても自然豊か。仕事中は集中しているので気づかないが、一息ついた時や通勤の途中に四季を感じることも多く、リフレッシュしながら会社に来て、一日仕事を頑張る感じになれている。
- (委員) 情報発信はどうやってしているのか？
- (徳田) 20年間やって来て顧客がついているので、ある程度の認知はある。SNSもだが、写真から検索できるピンタレストというサイトがあり、そこから自社サイトへの流入がすごく多い。お金をかけるような広告はしていない。自分たちでフェイスブックとかはするが、そこまで時間もなくてあまりできていない。アマゾンや楽天ショップに出店することもできるが、扱っている商品が一点ものなどもあり難しいので今はやっていない。その手法が大きな利益を生むことは理解しているが、失う信用の方が大きいと考えている。自社サイトだけでも正直に言って非常に儲かっている会社だと思っている。
- (徳田) ここにきてビックリしたことは、役場の方もそうだが、地元の方との距離感が近い。この場所が地元の方もよく知っている場所(廃屋)だったので、非常に興味を持っていただけた。野菜を持ってきてくれたり、頑張ると声をかけられたりする。全員が応援してくれている訳ではないのは理解しているが、応援して下さる方がいるのはありがたい。困ったことがあると相談にも行くが、すごく親身になってくれて、物事が早く片付く。小さいコミュニティだからだと思う。東大阪では考えられない。
- (徳田) 実はここに来てから、駐車場の問題が起こった。社員だけでも20名はいるため、多い時では十数台になり、お客様用以外にも駐車場がいるということに来てから気がついた。近くは農地ばかりで車を止められるところがないという話になって、びっくりした。結局、農地を雑種地に変えてもらい借地で駐車場を確保できたが、その手続きなどもスムーズにしてもらえた。社員がある程度の人数いるなら、駐車場のことなども考えて土地の広さを確保する必要がある。
- (委員) 農地を雑種地にかえるとき、役場から資金などの支援はあつたのか？
- (徳田) 支援はなかったが、手続きは比較的スムーズにしてもらえた。貸主が非常に好意的な方で、町をもっと豊かにしていきたいと思っている地元の方だったので、全部やってくれた。

- (委員) オンライン販売されているが顧客はどのあたりにいるの？
- (徳田) 日本全国です。最近は海外からの問い合わせも増えてきたので、ここ 2・3 年の間には海外向けの販売も始めたい。今は国内のみ。
- (委員) 海外とは東南アジアや中国をお考えか？
- (徳田) 問い合わせはアメリカ、東南アジアなど色々なところからあるが、まずは英語サイトを作りたい。最初は支援を受けながら進めていき、最終的には対応できる人材を確保したいと思っている。
- (委員) 20 名ほどいる社員さんの内訳は？
- (徳田) 鉄工が 5 人ぐらい、木工が 4 人ぐらい、事務所が 5 人ぐらい、残りは地元パートの配送スタッフ。勤務時間は 3 時間程度の方や、17 時ぐらいまで働く方もいる。箕面森町に 30 代前半の方が多く、正社員にはなれないが、数時間なら仕事ができるという人は多い。人員募集はフェイスブックだけでしているが 1 週間程度で集まる。中には無償でもいいので、ここで仕事をさせてほしいと言ってくる人もいる。すぐ集まるのは、仕事できる場所がここしかないからだと思っている。
- (委員) 職人さんは、デザインや加工など全部しているのか？
- (徳田) 木工の人が鉄工をしたり、鉄工の人が木工をしたりすることはないが、デザインは各部署から 6 人ぐらい集めて、作り手や接客など、それぞれの立ち位置の人で話し合っている。ライン工場ではなく、クリエイティブな人の集まりで 30 代半ばが多い。
- (委員) 町内にある木工所や林業とのコラボは考えているのか？
- (徳田) 川尻にある山本林業の杉を使った「トヨノノ」シリーズとして販売している商品がある。地方の人とかには「トヨノノ」って何だろうと思われるが、それが地域のことだと分かれば良いなと思っている。去年の 11 月頃からはふるさと納税の返品品にもなっている。
- (委員) 豊能町に対するイメージで変わったこととかはあるか？
- (徳田) 絶対ここでないとダメという思いで始めたわけではなかったが、よくよく考えてみるとスゴク良いところだと気づいた。大きな視野で見ると、空港からもアクセスが良い。千里中央から 20 分ぐらいで来れる。空港は辺りなどところが多いので、40～50 分で来れるのは近いという印象。新大阪駅からも千里中央まで 1 本で来れるので、地方の方にも来やすい場所。市内からも新御堂筋がすいていたら本当に早い。あり得ないぐらい遠くに移転したというイメージを持たれるが、みんなが思っているよりすごく近いところだと思う。
- (委員) 上手工作所は私が思い描いている豊能町のイメージにピッタリあう。
- (徳田) 私たちが来たことによって、周りで仕事をしていた人たちも来たいと言っている。何度か場所を探してみたが、なかなか見つからず断念した人もいる。場所さえ確保できたら来たいと言っている人はいる。ただ役場に聞いても場所がないと。そこが一番の問題。
- (徳田) 次の計画として、ローソンの向こう側に、店舗・倉庫を兼ねて飲食店を始めたいと考えている。なぜ飲食かという、社員食堂が今の形ではいつまでも続けられない。頼める人もいない。それなら社員食堂兼で作ってしまおうというもの。この先、どんどん色んなところが入ってくれば良いと思う反面、町工場みたいところがバンバンくれば良いのかと言えば、排気とか出すのはイメージが違う。食に関する工場とかなら湯気は公害にならないので、知り合いとかにも声をかけている。誘致していきたい。食に対する意識は変わってきている。近いお店とか、安いものなら何でも良いと言うわけではなくなっている。

(委員) 定番商品はあるのか？

(徳田) 小さい会社なのでどんどん変えようというのが方針。1ヶ月に数点出しているのですが、売れない商品はすぐ廃版にする。3月末で商品の入替をするが、それまでに20点ぐらいは廃版にするつもり。売れない商品を置いておく場所もないので、リサーチして改善できる点がないのならすぐやめている。

(委員) 食品の場合は定番があった方がよいが、飲食はビジネスになるのか？

(徳田) 新しく始めようとしている飲食は、初めはランチで1000円未満を考えていたが、もう少し高級層、ランチだと2000円ぐらいにする。メニューも何でもあるのではなく、こだわったものを使い「食べて健康になる」をコンセプトにする。場所の力は大きく、周りの雰囲気もあるので期待はしている。

(徳田) これはできるかどうかは分からないが、友人がやっているプロジェクトでアメリカでは成功しているインキュベーターのような共同キッチン。店舗を持つ前の方が、いきなり店舗を持つのではなく、共同キッチンで始めて、人気が出れば店舗を持つような場所。素人の集団ではダメだがある程度であれば値段も下げられるし、そんな場所にしたい。デザイナーやクリエイティブな人が来ればいい。市内も近いので、クリエイティブ集団になれば、町内で横のつながりもでき仕事を回すこともできる。今もオーベルジュヤマガミさんや山粋さんと協力している。小さいコミュニティなのでみんな仲が良い。似たような人が集まれるといい。

(委員) 価値観の近い人が集まることは非常に大事。

(徳田) 今はパートが多く、子どもを優先してもらえよう柔軟な勤務体制にしている。少時間働ける人がたくさんいるのは良いことだと思う。

(委員) この店を目指してくる人が多いのか？

(徳田) 通りがかりの人も半分ぐらいいる。ビックリしたところだが、豊能町はドライブするのにちょうどいい場所のようで、見たこともないような高級車が来ることもある。年齢層は高い。時間とお金にゆとりのある人が前の道を通っているようだ。夫婦や家族で来られる。自転車の方も多い。

(委員) 上手工作所として、こんなことをやってみたいという夢はあるか？

(徳田) 知り合いの木工をやっている人が、役場の改装を一緒にやって地域一体でイメージづくりをしている。地元のレクサス展示場などもやっている。地元の誰かと地元のモノを使って仕事ができると素敵だと思う。

(事務局) 話も尽きないようですが、時間になりましたので、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。

■乗馬クラブクレイン北大阪 ヒアリング概要【R3. 2. 18/11:30~12:30】

豊能町を選んでいただいた理由は？

- 乗馬クラブはそれなりの土地の広さが必要になり、住宅地の真ん中ではできないが、近くに街があって、小一時間ぐらいでアクセスできる場所がベスト。
- 土地の広さによって会員数のMAXが決まるが、それに見合った人口が市場にいるかどうか重要。
- タイミングもあるが、北摂地域の人口にも魅力があり豊能町を選んだ。

豊能町へ来てみてどうでしたか？

- 2016年10月にオープンして4年半ほどしか経っていないが、会員数は1000人を超えた。正直、こんなに早く1000人を超えるとは思っていなかった。
- 土日が多く、車が100台は超える。月の来客数も延べで4000人は超えていると思う。
- 国道の交通量も多く驚いている。
- 食べる場所がないのは正直困っているところ。クレインで喫茶とかやればいいのだが、設備もなく簡単にできない。
- 通常、郊外のクラブだと近くに食事できる場所があり、食事をしてから午後馬に乗ったり、帰ったりする。
- 乗馬体験をされる方が、年間1500名ぐらいいるが、子どもたちが遊べる場所や、大人が見て回れる場所を聞かれた時に答えが出てこない。
- 乗馬クラブはあらゆる年齢の方が楽しめる場所であり、来客層も幅広い。家族連れも多く、どの世代の視点でも楽しめる場所などが複合的にあれば変わってくるのではないかな。
- 豊能町は景観が良い。馬だけでは難しいが、色んなスポーツが複合的に盛り上がっていけば結構良いところになると思う。
- 普段町中にいる人が、山の中にきてリフレッシュするというのが今の生活スタイルの基本だと思う。

新たに挑戦していることや、挑戦してみたいことはありますか？

- 全国的にも「やまびこ学級」といって不登校の子どもの取り組みはやっている。
- 豊能町でも、不登校の子どもの代わりに乗馬クラブへ来て単位をもらえるような取り組みをしていきたい。
- 観光牧場と違い、乗用馬なので団体の方がこられると馬が驚いてしまうなどのリスクが出てくる。馬を使った大掛かりなイベントが正直しにくく、地元の方とのふれあいは豊能町に限らずクレインの長年の課題である。

■乗馬クラブクレイン北大阪 ヒアリング要約

話し手：宮井所長

聞き手：審議会委員 7 名、事務局 3 名

(宮井) 2016 年 10 月にオープンした乗馬クラブクレインの一つの事業所で、乗馬のレッスンをメインにしているサービス業。スポーツクラブとかテニススクールの代わりに馬に乗っているというイメージで、乗馬体験から会員になってステップアップしていく感じ。

(事務局) 豊能町を選んだ理由、感じた魅力などは？

(宮井) 運営形態に直結するが、乗馬クラブはそれなりの土地の広さが必要になり、住宅地の真ん中ではできない。現在は管理している馬も 60 頭まで増えている。通常の観光牧場とは違って会員が乗馬を習う場所なので、近くに街があって、小一時間ぐらいでアクセスできる場所が乗馬クラブを行うにはベスト。それを考えると、タイミングもあるが北摂地域の人口にも魅力があり豊能町を選んだ。

(委員) 市場調査をする際の決め手は？

(宮井) 基本的には、30 分圏内、1 時間圏に住んでいる方の人数がベース。乗馬クラブは土地の広さによって会員数の MAX が決まるので、それに見合った人数が市場にいるかどうか。民力もあるが、やはり人口になる。現状の規模だと 1000~1100 人ぐらいが会員数の MAX になる。

(委員) スタッフの人数は？

(宮井) 正社員が 25 名。アルバイトが約 40 名。アルバイトは、ほとんどが馬屋の掃除とか施設管理、草刈りなどをしてもらっている。地元の方、特に希望ヶ丘の方が多い。宿直は正社員が毎晩 1 名で行っている。火災や盗難防止のためであり、基本的に夜中に何かすることはない。

(委員) スタッフの役割や必要な資格などはあるのか？

(宮井) スタッフは部署に分かれていて、レッスンをするのが指導部で、フロント・経理、新規顧客を獲得するための営業部がある。資格としては、指導員になるための社内規定資格がある。ただ、フロントや営業の中にも指導員の資格を持っている者はいるので、全員で運営している感じ。

(委員) 豊能町を選ぶときに地域の人へヒアリングとか説明会とかは実施したのか？

(宮井) 私はオープン 1ヶ月前ぐらいからしか関わっていないが、おそらく川尻と余野の自治会長には話をしていると思う。この場所は、もともと電通の保養施設グラウンドで、形はほとんど変えていないので、大掛かりな説明会はしていないと思う。

(委員) 馬が逃げたらどうするのかとか、条件とかトラブルはなかったのか？

(宮井) そういのは一切ない。今も川尻の自治会長へ挨拶に行くが、非常に協力的。

(委員) 町民の会員数は？

(宮井) 今は全会員で約 1000 人いるが、豊能町の方は 60~70 名ぐらいだと思う。

(委員) 正社員の方で町内の人は？

(宮井) クレインは全国に 35 カ所ある。たまたま私は川西出身だが、転勤で全国から集まっている。豊能町出身の社員は 3 名。私も、ここに来る前は千葉県の成田空港の近くにあるクラブにいた。転勤が多い。

(委員) 社員は豊能町内に住んでいますか？

(宮井) 半分ぐらいは豊能町。あとは川西・池田が多い。独身だと豊能町には住みにくい。家族持ちになると、家賃が安くなるので光風台・ときわ台などへ移ってくる。若い子が一人で希望ヶ丘に

- 住んでいるが、庭の管理がしんどいと言っている。
- (委員) 乗馬クラブ以外に預託とか何かしていることは？
- (宮井) クレインでは預託はあまりしていないが、競技会には選手を出しているの、馬の販売はしている。馬術部とか個人とか、他のクラブにも販売している。
- (委員) 豊能町の教育委員会と協働でやってみたいこととかは？
- (宮井) 全国的にも「やまびこ学級」といって不登校の子どもの取り組みはやっている。オープンして間もないのでなかなか出来なかったが、豊能町でも不登校の子どもが学校の代わりに乗馬クラブへきて単位をもらえるような取り組みをしていきたい。
- (委員) 私も地元の間人だが、クレインのことは知っているようで知らない。もっと地域の方と触れ合えるような取り組みをしては？
- (宮井) 馬の性質にもなるが、観光牧場と違って乗る用の馬なので、団体の方が来られると馬が驚いてしまうなどのリスクが出てくる。施設内での馬を使った大掛かりなイベントが正直しにくい。地元の方との触れ合いは、クレインの長年の課題ではある。40年以上経っているクラブでも中に入ったことがない地元の人が多い。「乗馬」というのが一線引いてしまっている。
- (委員) 引馬とか、学校周りとかの例は？
- (宮井) 地元市町と関係の深い施設はそういう取り組みをしているところもあるが、そうでない施設は人員のこともあり、そこまで手が回っていないのが現状。
- (委員) 一般庶民にはお金がかかって手が出ないイメージ
- (宮井) 実際に来られている方は裕福な方ばかりかというところでもない。普通の方が普通にされている。6割から6割5分が女性。全国どこでも女性が多い。理由の一つとして、馬術競技はオリンピックでも男女で分れていない、体力差や瞬発力の差など男女で差がでない唯一のスポーツ。正直、男性の方が選べるスポーツが多いのと、女性でも男性と差がなくできるスポーツということで女性が多くなっていると思う。
- (委員) 会員の年齢層は？
- (宮井) 大学生の子がバイトしながらやっているケースもあるし、バラバラ。
- (委員) 雪国ならスキーが強いとかある。田舎だからこそできる広範囲なスポーツエリアのようなものを思い描いていたり？
- (宮井) 豊能町は景観がよい。馬だけでは難しいが、色んなスポーツが複合的に盛り上がっていけば結構良いところになると思う。普段町中にいる人が、山の中に来てリフレッシュするというのが今の生活スタイルの基本だと思う。広いところに来て何かできるとか、動物に触れあって何かできるとかがあれば、豊能町自体が盛り上がる気がする。成田空港の近くにある千葉県富里市は馬の発祥地。御料牧場があって競馬も乗馬も発祥。人口は4万9千人ぐらいだが、馬とスイカだけで売っている。その二つしかないが、その代わりに伝統がある。2年前にクレインもオープンしたが、乗馬クラブは14個ぐらいある。
- (委員) 乗馬クラブに入る人の定着率は？
- (宮井) 目的がバラバラ。生涯スポーツでいたい人はオープン当初からずっと続いている人もいるし、競技に参加している人もいる。一番上手な人は中学生だが、昨年全日本ジュニアで7位になった。クラブとしても2~3か月に1回は競技会に参加している。健康のためにする人もいるし、一通り乗れるようになるまで頑張る人もいる。
- (委員) 阪急オアシスなどでよく会員募集されているので、入れ替わりがあるのかと思っているが？

- (宮井) 当クラブは、まだ会員数が MAX になっていない。オープンした 4 年前は、馬 10 頭会員 0 名でスタート。今は 1000 人ぐらいまでになったが、3 月は学生さんの卒業などもあり会員数が減ってしまうので募集は継続的に行っている。
- (委員) 会員は近郊から来ていると思うが、食べる場所もないので馬に乗って終わったら帰るという人が多いのか？
- (宮井) 食べる場所がないのは正直困っているところ。クレインで喫茶とかやればいいのかもしいが、設備もなく、コロナもあり簡単に提供できない。来られた方がお昼を食べる場所がコンビニしかなく、「それなら家に帰って食べる」となってしまう。通常、郊外のクラブだと、だいたい近くに食事のできる場所があり、食事をしてから午後馬に乗ったり、帰られたりする。特に平日だと主婦の方が多く、乗馬クラブの友達と食べて帰るケースが多い。
- (委員) 会員が 1000 人だと、ひと月あたり、延べ 4000 人ぐらい来ているのか？
- (宮井) もっと来ている。
- (委員) 私は地元に住んでいるが、そんなに来られているという認識がない。馬に乗ってスッと帰られているのか？
- (宮井) そうですね。土日が多いが、車が 100 台は超える。家族の方も多いため、来客数だと 4000 人は超える。あまり来客者数は意識していないので正確には分からないが。
- (委員) 飲食以外で、こんなのがあれば良いと思うようなものはあるか？
- (宮井) 初めて乗馬を体験される方が年間 1500 名ぐらいいる。その方たちは、乗馬がしたいと思って来る方もいるが、多くの方はその日を楽しく過ごそうと思ってこられる。午前中の乗馬体験が終わったあと、「どこか行ける場所ありますか」と聞かれた時に、どうしても口をつぐんでしまう。子どもたちが遊べる場所や、大人の方が見て回れる場所を聞かれた時に、答えが出てこない。そういう所があれば案内しやすい。会員だと一日何回も乗って、馬で過ごすことが出来るが、体験の方は一日一回しか乗れないので時間が空く。乗馬クラブはあらゆる年齢の方が楽しめる場所。馬だけで盛り上げるのではなく、どの世代の視点でも楽しめる場所があればありがたい。
- (委員) このあたりのマップなどがあればよいのでは？
- (宮井) オリジナルのマップを作ったりしていた。
- (委員) 商工会への入会は？
- (宮井) イベントとか団体での動きがクラブとしては難しいので、商工会との関わり方は正直難しいところがある。
- (委員) 乗馬体験は予約制？
- (宮井) 乗馬体験は 2 頭でやっているのだから、時間帯を決めて予約制でやっている。会員を優先しないといけないので、2 頭が限界。
- (委員) 極端に言うと、豊能町が会員になって馬を確保するような形を作るとか、どんどんオープンにしてもらえたら？
- (宮井) 実際のところ見学は自由。どうやったら気軽に来てもらえるようになるのか、全国の乗馬クラブが困っている。
- (委員) 観光事業ではなくスポーツだから難しいと思う
- (宮井) 地域によって全然違うが、小学校とかでのふれあいの乗馬体験を企画し、教育委員会に後援をもらって学校でチラシを配布してもらおうようなことは結構な事業所でやっているのだが、実

は豊能町では断られている。このあたりから入り込めたらいいのだが。

(宮井) ほかに、山が余っているので使ってほしいとの申し出はあるが、造成してまでと考えると難しい。

(宮井) クレインとしては乗馬だけ単体で動いているような感じはする。例えばアウトレットとか、ほかに案内できる場所、複合的な何かに来てもらって、乗馬が目的の二番目になってもいい。乗馬が目的の二番目の方は、乗馬だけしかなかったら来ない人なので、何か複合的にあれば変わってくるのでは。

(宮井) 豊能町ではコンビニは繁盛している。国道の交通量が多いのもったいない。今は通り抜けている人ばかりだが、何かあれば変わると思う。北摂地域だと人口は多い。正直こんなに早く会員が1000人になると思っていなかった。

(委員) もうちょっと地域と密着してできると考え方が変わるのかも

(宮井) 馬糞は嫌がられるものだが、今は豊能町・能勢町の農家の方に無料で堆肥として配っており、とても喜んでもらっている。最初は効果などが疑問視されていたが、徐々に広まってきて、今は配達を待ってもらっている状態。

(事務局) 話も尽きないようですが、時間になりましたので、これで終わらせていただきます。ありがとうございました。